

JMU舞鶴事業所の船舶建造が終る



引き渡し後 韓国・釜山港に向け出航する“最後の貨物船”（5月26日）

舞鶴の社会経済を120年近く支え牽引してきた基幹産業の「造船」が、5月26日にジャパンマリンユナイテッド(株) (JMU) 舞鶴事業所で行われた最終船の引き渡しで実質終了しました。造船業は明治36(1903)年11月に舞鶴海軍工廠として開設されて

から、第2次世界大戦後の混乱期を除き、舞鶴市が日本海側有数の都市に発展した中核的な役割を担うとともに、常に最大の基幹産業であり続けました。JMUでは今後について、船舶修繕の事業所として運営される予定です。(2ページに続く)

緊急事態宣言6月20日まで延長

国は5月28日、京都府への緊急事態宣言を6月20日までに延長することを決定しました。舞鶴市でも「ワクチン接種」が始まり、少しですが、雰囲気は変わろうとしているのではないのでしょうか。引き続き“コロナには負けないぞ”との気概を持って、「新型コロナ対策」に万全を期していただきますようお願いいたします。(3ページ、7ページ、8ページに関連記事)

目次

造船業118年の歴史に幕	2
「京都府緊急事態措置協力金」の概要	3
3年度小規模振興委員の紹介	4
舞鶴鎮守府開庁120年記念事業	5
「夏の就職フェア」参加事業所を募集	
会員、新入会員企業紹介	6
「ハローワーク舞鶴」からのお知らせ	7
インフォメーション	8